

# 福祉 くろべ

# 6月

2014

No.99

編集・発行 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 平成26年6月1日発行

## うなづき

[場所] 黒部市宇奈月老人福祉センター

介護予防通所事業

### 生き生き倶楽部

時間/9:30~15:00

参加無料!

対象/65歳以上の方



※■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2 口腔ケア	3 口腔ケア	4	5 口腔ケア	6 口腔ケア	7
8 ヤンバイ映画館	9 趣味講座	10 趣味講座	11	12 趣味講座	13 趣味講座	14
15	16 新川荘	17 新川荘	18	19 新川荘	20 新川荘	21
22 ヤンバイ映画館	23 自力整体 心香りの湯	24 自力整体 心香りの湯	25	26 自力整体 心香りの湯	27 体操	28
29	30 体操	1	2	3	4	5

時間/10:00~ 自力整体 … 稲田 清美先生



歯科衛生士さん指導!

### 誰にでもできる口腔ケア

元気で楽しい生活のためには、口の機能が大切です。  
毎日できるケア方法を一緒に学びましょう!



- ケア内容
- お口の清掃方法
- 食べる・飲み込む力を鍛える体操

黒部市宇奈月老人福祉センターにお問合せください  
担当: 広浜まで TEL.(0765)65-1820

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

http://www.kurobesw.com/

● 本所 黒部市福祉センター内  
〒938-0022 黒部市金屋464-1  
TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797  
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター)  
Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

● 宇奈月支所 黒部市宇奈月老人福祉センター内  
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111  
TEL・FAX.(0765)65-9533  
Eメール u-shakyo@ma.mrr.jp

## くろべ

[場所] 黒部市福祉センター

介護予防のための

### 元気はつらつ体操教室

時間/10:00~11:00

参加費/300円(入館料のみ)

対象/65歳以上の方



※■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 体操	5 自力整体	6 自力整体	7
8	9	10 ストレッチ	11	12 体操	13	14
15	16	17	18 ストレッチ	19 ストレッチ	20 口腔指導	21
22	23	24 体操	25 口腔指導	26 体操	27 ストレッチ	28
29	30	1	2	3	4	5

時間/10:00~ ストレッチ … 仁科 在重先生

自力整体 … 稲田 清美先生

口腔指導 … 松木久美子先生



## 編集後記

特集の撮影は星空の輝く新川黒部橋の上。  
新川地区に県登録手話通訳者は3名しかいないため、手話通訳の依頼は最低3日前が原則です。この日は間に合わず街灯を頼りに筆談が進められました。方法は違っても、コミュニケーションはやっぱり楽しいと感じた取材でした。

編集 中野



ちよこ情報 [黒部市の人口] 41,978人 [65歳以上の人口] 12,070人 高齢化率 28.6%  
H26.5.1 現在(外国人を除く)

## 特集 「耳は聞こえなくても、伝えられることがある。」

地域の今を届ける密着レポート/元気はつらつ体操教室のバスハイキング  
イベントpick up!/元気づくり事業 バスハイキング  
連載/ふくしスマイル・ワーカー  
etc.

今月の表紙 生地浜——夕陽百選にも選ばれた幻想的な風景が広がっています

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

特集

# 耳は聞こえなくても、 伝えられることがある。

風が気持ち良い季節になってきました。ま  
ちを歩いてみると、犬の散歩をしている人を  
見たり、ジョギングをしている人、ウォーキ  
ングをしている人を見かけます。そこで今月  
の特集はスポーツをテーマにしました。  
私たちが出会ったのは、走るということが  
不便なことが多いはずなのに、きっと私たち  
よりも走ることが大好きで、走ることの意味  
を大切にしている姿勢から、教えてもらった  
ことがたくさんあります。

宇奈月町浦山に住む橋勇一さんにお話を  
聞きました。



仕事が終わってからトレーニングに励む橋さん

やろう！という  
気持ちが大事

**小柴** 今日はよろしくお願いま  
す。  
**橋** こちらこそ、よろしくお願  
いします。  
**小柴** 早速ですが、普段から走る  
ことが好きで様々な大会に出場  
されているようですが、最近は何  
んな大会に出場しているのですよ  
うか。

**橋** 魚津しんきろうマラソンや滑  
川ほたるいかマラソンに出場しま  
した。昨年開催された全国ろうあ  
者体育大会陸上競技に15年ぶりに  
出場し、800m3位、400mリ  
レーは優勝しました。富山県聴覚  
障害者協会陸上競技部に在籍して  
34年です。今は選手と部長を兼ね  
後輩の指導をしています。

**小柴** すごくいですね。趣味と聞い  
てましたけど、これはもう趣味の  
域を超えていますよね。アスリー  
トじゃないですか！  
**橋** いえいえ、そんなことありま  
せん。

**小柴** これだけのめり込むとい  
うか、没頭するぐらいですから、走る  
ことの楽しさが、もう橋さん  
にとってかなり特別なことになっ  
ているような気がします。

**橋** 身体にあたる風を感じるこ  
とできて、すごく気持ちがいいん

です。同じ場所を何度も走るんで  
すが、四季によって風景や雰囲気  
が違います。  
**小柴** さすがというか、こう見た  
目もガツシリしてらっしゃって、  
素敵ですね。そして橋さんは様々  
なレースに出場しておられます  
が、普段のランニングとレースと  
は具体的にどんなところが違うの  
でしょうか。

**橋** 大会は本当に楽しいです。し  
んきろうマラソンは、陸上競技部  
の仲間と一緒に「がんばろう」と  
手話で声を掛け合いなが  
ら走りました。そんな楽し  
いおしゃべりで苦しいこ  
とを忘れてしまいますね。  
沿道や会場にいる人たち  
から「がんばれ」と応援  
してもらうことも励み  
になります。その表情を見て  
いると、あたたかい気持ち  
になりますし、皆さんから  
話しかけられるのが嬉し  
いです。

**小柴** 人とのふれあいが  
力になるんですね。ところ  
で、トレーニングはどのよ  
うにしていますか。

**橋** 平日は仕事や役員会  
議が終わってから夜に走  
ります。帰宅途中で富山県  
総合運動公園のクロスカ  
ントリーコースに寄った  
り、自宅から宮野運動公園

まで走ったり。持久走のスタミナ  
をつけるためには天気に関係な  
く、雨、風、雪の日だって走ります。  
努力することが大事なので、工夫  
しながら練習時間を作っていま  
す。去年はすごく忙しかったん  
ですが、練習時間をうまくとって努  
力したから、これだけの結果が出  
たと思っています。「やろう！」と  
思う気持ちがいちばん大切で  
すね。



手話と筆談でインタビューにこたえてくれる橋さん

耳が聞こえないことは  
普通だと思っていなくて

**小柴** 障害について聞かせていた  
だけですか。耳が聞こえないこと  
の自覚があったのはいつ頃です  
か。

**橋** 耳は生まれた頃から聞こえて  
ないので、これが普通だと思っ  
ていました。だから特に何も感じま  
せんでしたね。学校でも皆、同じ障  
害があって手話でコミュニケーション  
をとっていたので、むしろ  
お店に行ったときに手話を使っ

いないから、言っていることがわ  
からなくて、どうして手話を使わ  
ないのかを不思議に思うぐらいで  
した。手話を覚えたのも、義務感と  
いうよりは周りの人が使う中で自  
然に身につけていったという感じ  
です。そうですね、子どもが言葉を  
覚えるのと同じ感じでしょうか。  
**小柴** なるほど。橋さんのなかで  
は「当たり前」だったんですね。た  
だ、時代を考えると、橋さんが子ど  
もの頃は今よりも障害に対する意  
識も浸透していなかったのではな  
いかと思うのですが。  
**橋** 僕が子どもの頃から見たら、  
それは大きく変わったと思いま  
す。数年前から手話も言語だとい  
う認識が少しずつ広まってしま  
した。手話を見ても違和感はなく  
なってきました。子どものときは  
手話よりも発声の練習や指導が多  
く、苦しいことがたくさんあり  
ました。



昨年出場した全国ろうあ者体育大会陸上競技



数々のトロフィーとメダル



米田千代子さん(77歳)と大野フミさん(93歳)



### 活動レポート 1

## お花と笑顔が満開に！ 元気はつらつ体操教室 春のバスハイキングへ

将来的に社会の一員として皆と一緒にコミュニケーションがとれるようにと、口話(こうわ)だけを厳しく教えられました。ただ、どうしても口話だけでは伝えられないことはあるんですよ。例えば「たまご」と「タバコ」では口の形が同じだけど意味は全然違うわけで、口の動きだけではその違いが全くわかりません。そういう例がたくさんありますから、手話がどうしても必要なんです。それが変わってきたのは、私が20歳の頃でしょうか。1981年の国際障害者年の後、手話ブームが起こり、あちこちで手話を学ぶ人が非常に増えてきたことから理解が少しずつ広まっていったと思います。私たち聴覚障害者団体として、手話言語法制定に向けた取り組みなど、社会の差別をなくすために活動を続けてきました。もちろんまだまだ終わっていません。もともと平等な社会になるように啓発運動を続けなければならないと思っています。

護士や薬剤師などの資格を取る聴覚障害者もいて、レベルが上がってきており、社会は大きく変化してきています。ただ、たとえば黒部市では、駅や公共交通でも雪のため電車が遅れるなどの情報はなかなかわかりません。電光文字掲示板のように文字で知らせてくれるとわかりやすいですね。市役所にも専任手話通訳が常駐してくれていたらなあと思います。これは皆さんも同じかもしれないですが、私たちにとっての課題も多く残っていると思います。

**小柴** いろんなお話を聞かせていただきありがとうございます。ここでまた最初に戻りたいと思います。橘さんにとって「走る」とは何を意味するのでしょうか。

**橘** いえ、こちらこそいろんな話が出てきました。あまりこういう話をじっくりすることもないので新鮮な気持ちでした。走る、そうですね、とにかく体力の続く限りは走り続けますよ。走ることは、私の生き方、私が生きている証、しるしなのかもしれませんね。自分が走ることで私の周りの人たちにも影響を与えていると思います。見られることによつて私自身も成長できるんじゃないかと思っています。一般的に障害者はスポーツが弱いと思うかもしれない。その分、強くアピールしな

元気はつらつ体操教室の参加者の皆さんで、魚津の「花の森・天神山ガーデン」にバスハイキングに出かけました。約6,000㎡の敷地には、ぼたん250品種、1,000株、シャクヤク120品種、シャクナゲ1,000株があります。6月中旬まではシャクヤクが楽しめるそうです。目一杯おしゃべりをされた参加者の皆さんは、たくさん咲き誇ったきれいな花々にうっとり！その姿は花にも負けず一層の若返り効果がありました。

元気はつらつ体操教室では、いつまでも元気に若々しく過ごせるような企画を行っています。お気軽にご参加ください。

バスハイキングは他の事業でも予定しております！

詳細は7ページをご覧ください



### 活動レポート 2

## 町全体で日頃の備えを再確認 豪雨災害を想定した 避難訓練を実施しました

3月29日(土)に石田地区岡町内で、豪雨のため黒部川堤防が決壊し洪水が押し寄せ地区に浸水したと想定し災害防災避難訓練を実施しました。赤ちゃんから高齢者まで100人以上が参加する訓練となりました。

市防災危機管理班から自助と共助についてお話をいただき、市社協発行の『くろべ防災Book』の紹介もありました。

「次回は障害者の方々の避難について考えましょう」と呼びかけ、日頃の備えを再確認しました。



避難場所までの道を皆で確認しました。



福祉くろべ3月号付録の「くろべ防災Book」



**橘 勇一さん**  
社会福祉法人 富山県聴覚障害者協会 陸上競技部長  
野菜作りが趣味でトマトやなす、きゅうり、じゃがいも、オクラなどを畑で栽培。

●手話通訳 竹伊美子さん

きやならないと思うんですよ。自分たちは障害があるけれどもスポーツの力は皆さんと一緒にだということ。私は障害のない人を越えて、県民体育大会一部で優勝の経験があるんです。

**小柴** たぶん、普通に走っておられたら、橘さんに障害があるとは思えないと思います。むしろ話を聞くと、橘さんの生き方を見習わないといけないと思うほどです。最後になりますが、橘さんの次の目標を教えてください。

**橘** たくさんあるんですけど、私より若い人たちに私の成績を超えてほしいなあ。良い選手を育てたいというのが私の夢ですね。20年前、ブルガリアで開催された世界デフリンピック競技大会(※1)の出場権を得るために大分県での強化合宿で日本のトップ5〜6人

が3日間一緒に猛練習したんです。A標準記録がギリギリで選考に落ちました。大会に出場できなかったことが悔しくて一番印象に残っています。だから、世界デフリンピック競技大会に出場できるように若い人たちを指導育成したいと思っています。

**小柴** 見ているところが世界なんです。この黒部から、富山から世界と戦える選手が生まれることを応援しています。そして、私も社会福祉協議会の一員として、黒部のまちがもっと良くなるように意識を高く持ちたいと思います。お話を伺うだけのはずが、宿題までいただいたような気持ちです。ありがとうございました。

※1 世界デフリンピック競技大会  
4年に1度、世界規模で行われる聴覚障害者のための総合スポーツ競技大会

### 来て見てヤンバイ映画館

開催時間:13:30から 入場無料

6月 5日(木)	「島田洋七の佐賀のがばいばあちゃん」 場所 旧みどり保育所(東布施)
6月10日(火)	「母べえ」 場所 三日市公民館
6月17日(火)	「こちら皮答せよ!危機百発」 場所 大布施公民館
6月18日(水)	「ひばり チェミ いずみ 三人よれば」 場所 村椿公民館
6月24日(火)	「武士の家計簿」 場所 音沢公民館
6月25日(水)	「RAILWAYS」 場所 親水の館(田家)

### 今月の相談日

民生委員児童委員と心配ごと相談

行政相談員と行政相談

黒部市福祉センター 6月10日(火) 13:30~15:30

黒部市立中央公民館 6月12日(木) 13:30~15:30  
(宇奈月町浦山2100-2)

弁護士と法律相談

黒部市福祉センター 6月17日(火) 13:30~15:30

ご予約  
不要です

予約受付  
6月2日より

## 第1弾 元気づくり事業 バスハイキング

**富山方面 植物園ツアー** 6月16日(月) 9:00~16:00予定

日程 9:00 市福祉センター出発~中央植物園~  
昼食(五万石 千里山荘)~  
ファボーレでショッピング  
16:00 市福祉センター着

参加費 2,500円	定員 27名
------------	--------

**新湊方面 橋巡りツアー** 7月14日(月) 9:00~16:00予定

日程 9:00 市福祉センター出発~  
川の駅新湊(内川の橋めぐり)~  
道の駅新湊(昼食)~  
ささら屋  
16:00 市福祉センター着

参加費 2,500円	定員 27名
------------	--------

申込受付開始 6月5日(木) 9:00より  
黒部市福祉センター窓口にお越しいただき申込みください

### 催し物と休館日のご案内

黒部市福祉センター 利用時間/ 8:30~16:30

#### 6月の催し物

12日(木) 元気カラオケ 発表会	10:30~
21日(土) フラサークル・イリマフラダンス発表会	11:00~
26日(木) 北川歌謡ショー	10:30~
28日(土) 魚津カラオケ友好会 歌謡ショー	10:30~

休館日 毎週月曜日(2日・9日・16日・23日・30日)

※6月1日(日)・8日(日)・14日(土)・15日(日)・22日(日)は  
敬老会開催のため入浴のみの入館となります。

#### 7月の催し物

5日(土) 歌謡パラダイスふれあいショー	10:30~
13日(日) カサブランカ愛好会	10:30~
19日(土) 華の会歌謡ショー	10:30~
20日(日) YKK社友会歌謡同好会	10:30~
26日(土) こぶしカラオケ愛好会 発表会	10:30~
27日(日) カラオケあえの風発表会	10:30~

休館日 毎週月曜日(7日・14日・21日・28日)

※7月6日(日)は敬老会開催のため入浴のみの入館となります。

**今日の湯**  
入浴時間 10:00~16:00

- 6月 1日(日)~ 8日(日).....プラセンタの湯
- 6月10日(火)~15日(日).....アロマラベンダーの湯
- 6月17日(火)~22日(日).....梅の湯
- 6月24日(火)~29日(日).....みかんの湯

誕生日のお祝いに  
センターの入浴券はいかがですか?  
11枚綴り 3,000円

町内の会合や趣味の集まりに、黒部市福祉センターをご利用ください

### お知らせ 2 第9回 黒部市社会福祉大会

大会について詳しくは来月号でご紹介いたします  
平成26年 7月12日(土) 13:30~(予定)  
[会場] 黒部市国際文化センター「コラーレ」  
カーターホール

大会は赤い羽根共同募金の助成金を受けています。



### ふくしスマイルワーカー

スマイル Vol.6

やわらぎデイサービスセンター  
介護福祉士

村椿 哲雄さん(41歳)

利用者さんやご家族の相談に  
応じ受け入れ業務から  
施設運営まで幅広く担当



### 力仕事だけじゃない”男子力”で 安心してもらえるように

「最近は利用者さんと関わる時間が限られていますので、濃密に話をしようと心掛けています」とさわやかな笑顔の村椿さん。

学生時代は土木について学んだそう。人と携わることができ今後必要とされると考え福祉分野の仕事を選択。未知の世界に飛び込んで19年目。

女性が多いという職場環境は当時からあまり変わっていないが「男性利用者の中にはスタッフが男だと話しやすいと言われる方もいらっしゃいます。力仕事や機械操作だけではなく男子力で安心を感じてもらえればなあ」と優しく話してくれました。

### お知らせ 1 県広報とやま「点字版」を貸し出します

県広報とやまの「点字版」は目の不自由な市民の皆さんのために毎月発行されています。

ご家族・関係者の方へ

貸し出しは黒部市福祉センター窓口で行っています。  
お気軽にお申し出ください。

おかげさまで、  
今年も雪で困る皆さんの  
役に立つことができました。  
ありがとうございました。

### あったか雪募金

法人募金	145,050円
職域募金	57,890円
イベント募金	151,003円
個人募金	98,490円
その他の募金	272,619円

平成25年度  
募金総額  
725,052円

平成26年1月1日から3月31日まで期間を拡大して行った赤い羽根共同募金「あったか雪募金」。たくさんの皆様に募金と雪かき支援をご協力いただき、本当にありがとうございました。



地域福祉のために

黒部市社会福祉協議会に  
寄付をいただきました。  
ありがとうございました。

- ◎ 大藪 邦男 様(浦山)
- ◎ 早川 伸久 様(下立)